

佐藤壽三郎の議員活動報告詳報 ことぶき月報 (No.193) 2014年 10月号

終世書生氣質 <http://zyusaburo.blog.fc2.com/> ブログ・千曲のかなた

本号は10月19日、境沢町公会堂で催しました『第18回市政報告会』にて、ご報告しました内容に加筆したものです。

I. 市民の権利を守る議員でありたい！

こんにちは。本日は御多用にも拘らず「佐藤壽三郎・第18回市政報告会」に、多数の皆様のご参加頂きありがとうございます。日頃から温かなご支援ご鞭撻を頂き心より御礼を申し上げます。私の市議4期後半は、議会選出監査委員として様々な職務執行に加え、議員としての年4回の定例議会をこなす。ほとんど毎日を監査室と議会詰の生活を送っております。監査委員として職務執行にあたり、「今まで見えなかったものが見える」ことに気づき、大変貴重な体験をさせて頂いております。歳入歳出の視点あるいは観点について鍛えられたように思います。

地方創生が叫ばれる今こそ、我らが我らの子孫が、「この須坂に生れてよかった」「この須坂で育ってよかった」「この須坂で生きてよかった」と言える須坂の方向付けをきっちりとし、市民の皆様の権利を守る議員であり続けたい信念です。

早速ではありますが、この1年間の市議会議員活動報告に入らせて頂きます。

第1. 私が一期から提唱し続ける5の課題

1. 市民の権利を守るため議会の迅速な対応が求められる時代です！

◇議会は規則で動く機関である融通が利かないところもありますが、今後も議会の緊急質問や一般質問、常任委員会での審査や調査研究の場を駆使して、市民の皆様の福祉と平穏な生活を如何に守るかを追求しましたが、今後も怯むことなく議会の使命を問いかけます。

2. 須坂の復活は、この須坂に雇用の場を生み出すことです！

◇人口減少にどう向き合うかが今一番の課題です。◇須坂市が人口減少を食い止めるには、市内の現存する企業を隆盛させることに市が厚く手助けをして、雇用の場の拡大を図ることです。須坂の子弟が生涯に亘って、この郷里で生計を保ち、家庭を築けるための確実な手立てを今後も提唱して参ります。

＜市民の皆様からご提言を頂きました＞

「活力みなぎる須坂の復活」のためには、①既存企業の隆盛、②企業誘致それに加えて、③若者に須坂に来て起業してもらう方法を構築することだと思います。須坂出身の大学生に夏休み須坂に帰って、白藤、越家、あるいは

創造の家で合宿し、須坂のことを学習したりして、自分が故郷へ帰ってきたらこうするという前提で、仕事を起こす（起業）試みをしてもらう、「起業プロジェクト」を企画したらどうでしょうか。

須坂の概要を知ってもらうためには、市史編さん室の先生、企業人をお願いし、起業プランニングの段階では、産業コーディネータを配置する。

このようにして、ある程度展望が見えてくれば、卒業後須坂に帰って来て起業する方向も見えてくるのではないかと思います。【市内在住・男性】

3. 温もりのある福祉社会を築くために！

◇生活保護制度は、人としての尊厳保持と、万一離職等で挫折した折に、人生の再チャレンジの機会として活用されるものと心得ます。市民の健康づくり、高齢者福祉医療、子育て支援に力点をおいた福祉政策を主張してまいりましたが、これからもひるむことなく、普く市民に政治の温もりをお伝えします。

4. 須坂の子どもは須坂の宝。宝は須坂が育てる心意気を持続します

◇人生は二度ありません。「人は教育でなせる」と捉えて、幼児期からの教育への重要性を主張しています。◇親の経済的理由によって、志学が挫折することのないように、今まで以上に奨学金制度の有効利用を提唱してまいります。

◇須坂市に支援学校小学部、中学部の創設が叶いましたが、更に幼稚部や高等部の開設を、市民の総意によってこの須坂市に実現しましょう。

5. 民間で出来る仕事は民間に開放し、市民に雇用の拡大をはかれ!

◇平成11年初出馬の折に、職員200名を削減することを提唱しました。今までに126名の削減が叶いました。民間が出来る事業は民間に移譲し、雇用の場を広めることを今後も提唱してまいります。

<市民の皆様からご提言を頂きました>

市の企画・政策スタッフは正規職員とし、定型的な仕事をする職員は嘱託職員でいいと思います。200名削減までもっていきましょう。【市内在住・男性】

第2. 私が一般質問等で一貫して取上げる須坂市の諸課題です

1. 経済・市財源に関わる諸課題として

- ① 須坂市の財政見直し・確保
- ② 須坂市の景況感・経済動向
- ③ 雇用の場確保のために
- ④ 須坂市への企業誘致と都市計画法
- ⑤ 須坂市の水資源の課題と水質保全措置

2. 市民の平穏な生活を守るための諸課題として

- ① 最終処分場の建設
- ② 須坂温泉のあり方
- ③ 須坂市動物園の指針

- ④ 伸び続ける介護保険料
- ⑤ 高校生までの医療費無料化
- ⑥ 峰ノ原の中興支援策
- ⑦ 市の公共物の維持管理のあり方
- ⑧ 小学校の統廃合提言
- ⑨ 須坂支援学校高等部の開設
- ⑩ 生活保護・就学援助
- ⑪ 須坂市滞納整理と人生のやり直し付与策
- ⑫ 市福祉企業センターの運営
- ⑬ 学校給食センター候補地選定等について
- ⑭ 富士通PCBの処理問題
- ⑮ 五味池破風高原自然園の原始野生化防止策
- ⑯ 子育て支援等

3. 北陸新幹線は敦賀まで前倒しで延伸させることが、須坂の繁栄につながる と提言

☆ 北陸新幹線金沢延伸によせる期待 その1

<http://www.zyusaburo.com/hokurikusinkansen-1.htm>

☆ 北陸新幹線金沢延伸によせる期待 その2

<http://www.zyusaburo.com/hokurikusinkansen-2.htm>

- 最新情報：政府・与党は北陸新幹線（金沢—敦賀間）で、3年の開業時期前倒しに動きがありました。

第3. 市議4期後半の議員活動は次のとおりです（H25.2～）

- 須坂市議会議員： I. 総務文教常任委員会委員 II. 予算決算特別委員会委員
- 長野広域連合議会議員： I. 総務委員会委員長 II. 議会運営委員会委員
- 須坂市監査委員 ○ 須坂市土地開発公社監事 ○ 須坂市都市計画審議会委員

第4. 議員になる前から取組んできた様々な提唱と実現

◇政治の師である故県議会議長田中英一郎先生の政策参謀となる（35歳～）。○米子・孀恋トンネル構想 ○長野市と黒部市を直線で結ぶ北アルプス横断ルート構想 ○新幹線を河東側に走らせる河東構想 ○高崎からの長野ミニ新幹線構想を阻止し、フル規格で長野駅まで建設する案 ○長野道須坂をICでなく須坂ジャンクション構想を言上。○須坂長野東IC周辺の井上田圃5万坪に「ブックランド構想」を言上。坂本康之氏（須坂市井上町）らと事業展開し、今日の「インター須坂流通産業団地」が実現。市に固定資産税の著しい増収をもたらしました。

◇長野県行政書士会副会長時（49歳）に、「規制緩和による行政書士制度廃止」論を阻止し、「行政書士の受験資格は学歴を問わない」「行政書士に申請代理権の付与」を国会に陳情。これらの要求が取り入れた行政書士法が改正され、誰でも受験可能になりました。申請代理権も獲得して『あなたの街の法律家行政書士』が実現しました。行政書士は法律職国家資格として、皆様のお役

にたてる身近な相談相手となりました。

◇長野県宅建取引業協会役員時に「支部毎にやっている不動産無料相談日を、県内同日同時刻に開催する重要性」を説き、県内支部一斉に不動産無料相談開設と変更されました。現在も不動産無料相談は、消費者保護のための「宅地建物取引業法 64 条の 5 に定める苦情の解決業務」にあたっています。

【プロフィール】

- S22 年 8 月須坂市上町で出生。須坂小学校、常盤中学校、須坂高校を卒業。19 歳の折に弁護士の書生となり法律が学べる機会を得て上京。東洋大学に学びました。
- 弁護士平井良雄氏、弁護士笠井盛男氏に師事し、二十歳代は司法試験に挑戦しました。
- 墨坂中学校 P T A 会長 (H10 年度) ○墨坂中学校 40 周年記念事業実行委員長 (50 歳) として、入学式で全生徒に「凜とした墨中生徒たれ。天、我が材を生ずる必ず用あり」と、李白の詩を引用して、人生の出番は必ずあることを生涯忘れないで励まれよと激励しました。
- H11 年市議会議員初当選 (51 歳) の後、連続 4 期当選させていただき現在に至ります。
- 市議会議長、市議会総務文教委員長、予算決算特別委員長、長野広域連合議会副議長、長野広域連合議会福祉環境委員長、長野広域連合総務委員長、長野県後期高齢者医療広域連合議会議員を歴任。

II. 議員の使命と議員活動

私は 1 期の新人議員であった平成 14 年 9 月に、先輩議員らと会派を縦・横断した「開かれた須坂市議会をめざす議員連盟」を立ち上げて「議会改革」を強力に推進しました。須坂市議会に「対面式・一問一答」の実現も叶えました。この時に須坂市議会は全国に先駆け「開かれた市議会になる」火蓋を切ったと思っております。

市議会議長に就任して、更に「開かれた市議会」のビジョンを展開しました。この議会改革の評価は、意外にも私が議長を辞してから後に、報道機関から高く評価されました。地域創造のための専門情報誌『日経グローバル』（日本経済新聞社産業地域研究所発行）が、平成 22 年 4 月 5 日付最新号で、全国市区議会アンケートの結果を特集しました「議会改革度」では、須坂市議会は全国 807 市区議会のうち、第 31 位にランキングされました。

1. 有権者の議会傍聴こそが、議員を育てます

開かれた議会を推し進めるためには、主権者（有権者）である市民の皆様が投票され、当選を果した議員のその後の活動への追跡が必要です。そのためにも、本会議での一般質問よりも寧ろ、市議会の常任委員会審査の傍聴をお勧めします。委員会での委員の発言こそ、投票した議員の資質や考えがはっきり判るからです。公約からして背信行為とも思える言動を繰り返す議員もおります。私は須坂市議会が更に新たな時代に対応すべき研鑽が必要と感じますが、他市の猿マネや学者の受け売りは許しません。須坂の独自性を醸成した議会改革を今後も心掛けます。

2. 市民の代弁者として真意を伝えきれているか

1) 私が最近行った一般質問とその成果。

○日野地域児童クラブの速やかな環境改善を求める！

日野地域児童クラブの平成 25 年度登録児童数や延べ利用児童数、更に一日の平均利用数を見ると、市内にある他の児童クラブから抜きん出ている。今春は更に日野小学校の児童数が増加していることもあって、同施設が飽和状態にあるのではないかと。良好な育成環境かである児童クラブを提供されたい。

【H25 年 9 月一般質問から】

☆ 須坂市は条例等を整備して日野地域児童クラブの育成環境改善に動きます。

☆ 日野小学校の校長先生と意見交換する機会を H26 年 10 月中旬得ました。

○国道 403 号の須坂駅南交差点の改良を求める！

国道 406 号の渋滞のネックは須坂駅南交差点です。この交差点の渋滞の原因は、塩川方面からの車が右折出来ないで、交差点内で停止するところに最大の原因があります。この交差点の構造的改良を急ぐべきです。【H26 年 6 月議会一般質問から】

☆ 須坂市は平成 26 年 7 月 24 日、県議会危機管理建設委員会に「国道 403 号 須坂駅南交差点付近の道路整備促進」の陳情を実施しました。

○「子宮頸がんワクチン」について、国の動きは緩慢ではないか！

当市所管課が把握している現状では、幸いなことに副反応は一人もいないようです。ここで私が問題視したいのは、「国が積極的接種勧奨の差し控え勧告をしたワクチン」を、市内の 1 年生女子生徒（当時）が集団接種を受けたことの実事です。これを国は重く受け止めて欲しい。市民の代弁者たる議員として、後日のために茲に発言し議事録に止めます。【H26 年 9 月議会一般質問から】

☆ H25 年県内副市長会議で、須坂市はこのことを議題として提出しました。

更に長野県市長会でも須坂市長はこのことを取上げました。

3) 他会派議員との学習会・議会報告会開催について。

議会としての政策提言、立法活動を行って行くための政策討論会、議員提案条例研究会等の設置と自主研究の確保に取り組まなくては、真の議会改革が進んだ議会とは申せません。

そのためにも、議員自らが政策課題についての調査研究を盛んに行い、時には専門家の助言を得ながら、議員同士で継続的な研究活動を取組んでいくことが大切だと考えます。研鑽の成果発表の場が市議会終了後に催す『議会報告会』であります。「各々の議員の考え方が違うことを知る機会」と心得られて是非ご参加ください。毎議会報告会の開催日時等は、須坂新聞にてご案内しております。

4) 泉小路改良事業の進捗状況について。

私は平成 17 年 4 月に、「泉小路を何とか復興したい」と願う地元商店主や住民の皆さんの要望を受けて、この地域の再生に心血を注ぐ決意をしました。先ず会則(組

織) 作りに着手し『泉小路活性化の会』を立ち上げました。計画の失敗は許されないので、役員をすべて長年懇意な商店主や事業者の皆さんで固めました。

私は「ブックランド進出(後のインター須坂流通産業団地)」で培ったノウハウを駆使して、会の組織をフル稼働し強力に市に働きかけをしました。会の真摯な願いは三木市政を動かし事業実施を勝ち取りました。あれから足掛け10年、市の事業計画は順調に進み、現在は用地の買収段階に至っており泉小路住民の宿願が今現実となりつつあります。会の副会長を務められた丸山眞氏(㈱丸山酒店・店主)が、事業の完成を見ないで亡くなられたことは洵に残念です。心から故人のご冥福をお祈り申し上げます。故人に対し私は「飲水不忘掘井人」と心に刻んでおります。

5) 憲法が保障する請願権に対する基本的姿勢

議会に提出される請願の多くは、請願人にとっては将に藁(わら)をも掴む思いで、提出されるものと感じます。請願の内容が明白に憲法を否定したり、或いは憲法違反の願意であったり、或いは市議会の権限外である場合を除いて、私は国民が憲法で保障された権利の行使と捉えてこれを支持します。

凡そ40分にわたるご報告になりましたが、ご清聴ありがとうございました。

2. 【私の監査委員職務執行】

(1) 定期監査：日程は後記北信鏡記載のとおりです。

3. 【会派・新自由クラブ】

平成26年10月2～3日、無所属クラブ、共産党、新自由クラブの3会派合同で「会派行政視察」を執行しました。合同で行う意義は、「行政視察の課題」に対して多面的複眼で見れる利点があるからです。

1日目

①宮古市から久慈市までの三陸沿岸が東日本大震災によって被った津波被害に対する復興状況を、第3セクター北リアス線に乗車して車窓の中からつぶさに視察しました。

②久慈市市役所にて「東日本大震災復旧状況について」、津波襲来時のDVDの見た後に、担当課職員より詳細な復旧計画の進捗状況の説明を受けました。

2日目

①久慈市より八戸市までの三陸海岸沿岸の津波被害に対する復興状況を、JR八戸線を利用して車窓から視察しました。

②前橋市の「萩窪最終処分場」を視察しました。処分場が出来るまでの用地の取得過程、処分場の建設、供用開始から現在までの進捗について説明を受けた後に、隣接する最終処分場を見学しました。

4. 【壽会佐藤壽三郎後援会】

壽会佐藤壽三郎後援会主催の第18回市政報告会は、10月19日、境沢町公会堂に60余名の参加者を催致しました。

市議会議員を支援して下さる方は、政党も多岐に亘ります。どの政党にも偏しないが佐藤市会議員を推すと言われる方もおられます。国政と異なり極めて個人的な交誼や縁戚関係が一番のつながりであるからです。自民党、民主党或いはどこにも属さない方々も支持されて下さるのが市議会議員の後援会母体と言えます。本第18回市政報告会に衆議院議員篠原孝先生が報告会にご参加頂きました。親しく国政全般に亘りお話を頂き、参加者（有権者）も感激しておりました。

【北信濃鏡】

10/1 /2 三会派合同視察 慈市 /3 三会派合同視察 橋市：萩窪最終処分場 /4 (市立保育園一斉運動会)、市民相談、会報配布・配信 /5 境沢町区民運動会、湯ックランド、市民相談 /6 /7 現地調査 /8 須坂市障害者協議会 /9 風邪臥床 /10 定期監査：消防本部：高山分署、小布施分署・豊丘分団 /11 四会派議会報告会素案 /12 報道情報収集 /13 風邪臥床 /14 定期監査：議会事務局、会計課、男女共同参画課、井上・豊洲・日野の各地域公民館、旭ヶ丘プラザ /15 取り纏め事務 /16 定期監査：市民課、選挙管理委員会、監査委員室、公平委員会 /17 定期監査：中央公民館、生涯学習センター、すぎか未来館、日滝地域区民館、エコパーク課、生活環境課、清掃センター /18 (須坂市障害者協議会理事会) /19 竜の里健康マラソン、第18回佐藤壽三郎市政報告会 /20 県職員と懇談 /21 定期監査：創造の家、博物館、図書館、旧小田切邸、千曲保育園、消防本部指令室、市体育協会 /22 四会派打合せ会、長野広域連合打合せ会 /23 定期監査：人権同和政策課、人権交流C、人権同和教育課、南部児童C、東部児童C、日野小学校 /24 相森中学校、小山小学校、学校給食C、学校教育課 /25 行政書士相談、会報編集 /26 会報編集 /27 行政書士業務2件、弁護士意見交換、/28 4会派報告会資料作成、会報資料作成 /29 監査委員・例月現金出納検査 /30 定期監査、仁礼小学校、東中学校、高甫小学校、子ども課、須坂保育園、日滝小学校 /31 相之島保育園、井上保育園、須坂千曲保育園、高甫保育園、仁礼保育園。森上小学校開校80周年式典に出席し祝詞を陳べました。

■□■□■□■□ ■□■□■□■□ 発行日 平成26年10月31日

編集：発行人 須坂市議会議員 (新自由クラブ) 佐藤 寿三郎

fax 026-245-5673 Tel 026-245-0050 須坂市墨坂南1丁目 (境沢町)